

## 津波で浸水の女川原発を調査

### 共産党国会議員団、高野 女川町議ら



女川原発の原子炉建屋に浸入した津波の水位を示す東北電力の担当者。右となりが高橋衆院議員、左から2人が吉井議員=14日、宮城県女川町の女川原発

#### 福島第一原発と同じように原子炉冷却 ができなくなる一歩手前に

共産党吉井英勝、高橋ちづ子両衆院議員と高野博町議らは、女川原発建屋の津波被災現場などを視察しました。

同原発の渡部孝男所長によると「高さ約13m」の津

波により2号機の原子炉建屋地下3階に海水が約2.5mまで浸入したとい

います。「熱交換器」が海水につかっただけで非常用発電機が使用不能となり、原子炉冷却ができなくな

る一歩手前までなりました。

4月7日の余震でも1号機で想定を上回るゆれの強さになり、現在、施設の点検を進めています。



日本共産党から義援金500万円を女川町長へ=3月29日



第1保育所で東京目黒区の共産党ボランティアがトン汁=5月4日



全国教職員組合が支援物資を配布=5月8日 総合体育館

54-3131-31までお問合せください。

#### 住民票の写しは 世帯員全員のものを

被災者生活再建支援金の申請は、5月16日(月)から被災地区ごとに日程を割り振って開始されました。申請には、世帯員全員の住民票の写しが必要となりますのでご注意ください。郵送での申請も可能です。詳しくは女川町役場震災支援チーム(電話)

くらしの豆情報

# 「二重債務」の解消を

## 参院予算委 大門議員が提案



### 首相「しっかりと検討」

「復興特別貸付制度」の返済期間の延長、無利子化など

5月13日の参議院予算委員会で、日本共産党の大門実紀史議員は、被災中小企業の再建にとつて障害となる「二重債務」を解消するため債務を買い取る機構の設置など、復興を後押しする枠組みを提案しました。

菅直人首相は、「大変検討に値する枠組みだ。しっかりと検討させていたいただきたい」と答弁。大門議員は、金融機関による債務の一時返済凍結や

この間求めてきた対策が実現したもの緊急避難措置にしかすぎず、「従来の枠組みを超えた、思い切った枠組みが必要」とのべました。

4月15日

緊急要望書を提出

雇用の確保、支援金等の支給など12項目

高野博議員、阿部律子議員は、一刻も早く役場機能を回復し、町長の記者会見を増やすこと、雇用の確保、全ての希望者に仮設住宅を、弔慰金・生活支援金等の早期支給、火葬場の改修、住民合意の復興計画など12項目の緊急要望書を安住宜孝町長に提出しました。

日本共産党町議団を通じて、原水爆禁止協議会、宮城県平和委員会など全国の団体から義援金などが女川町に届けられました。



自由法曹団（弁護士さん）から義援金＝4月2日



新日本婦人の会県本部から義援金100万円＝4月22日

住宅再建支援の対象外となっている「全壊」に至らない被災住宅にも助成が可能

大門議員は、半壊までいかない多くの被災住宅に対する支援が必要だと、国会で取り上げました。

被災者生活再建制度の適用対象外となっている

**埋葬費 国が全額負担**  
埋葬費用について、全額国が負担するとの通達が国から出されてきたことが判明。県は日本共産党の要請を受け、遺体の安置費用を含め、埋葬費用は遺族から徴収しないよう徹底する考えを伝えてきました。